

クレマンシーを切る

大正十五年八月十二日



クレマンシー
 ヘン、財布はカラッポだが
 悍あがらフランスは
 賣物ジャ
 ネーよ

高利貸
 クーリッダ



1202

小人國（大正神話）

大正十五年八月十二日



海東三千里
有島名小人
島人形如豆
精悍而惡敵
技桑之神女
飄然到此島
小人叫如蚊
响喊迫神女
神女一失笑
山川咸震動
全島沒海底
神女飛昇天



1208

錯覺

大正十五年八月十三日



大正十五年八月十三日



大蔵省

「これはうちの
子ですよ。」東京市
「アラ、マー」

英雄出でよ

大正十五年八月十四日



「英雄は居あいか、
英雄出でよ、」

「英雄は居あいか
英雄出でよ」

「英雄
茲に在り」

「英雄茲に在り」

「英雄茲に在り」

「英雄
茲に在り」



1206

何處まで行くか

大正十五年八月十五日



1207

宗教法案

大正十五年八月二十三日



學者



當局



坊主



耶穌坊主



神職



朴烈夫妻の怪寫真

大正十五年八月二十七日



「ケシカラン
誰が撮つた」

「不都合千万
誰が配付した」



1209

小川と江木(朴烈事件)

大正十五年八月二十七日



小川
ヤイ
江木
俺は立派
子責任を
負ふ事
様も覚悟
しろ
江木
何を
又カス



1210

震災記念堂行き悩む

大正十五年九月一日



「見つともあいぬ、」

「可愛そうに
泣いてるよ」



「生憎だがお己しが無いの」

1211

瑞典皇儲夫妻來遊

大正十五年九月二日



グスタフ・アドルフ

「日本は
よい国だ」

ルイゼ
「美しい
国だこと」



咄々怪事(朴烈事件)

大正十五年九月三日



怪犯朴烈の怪犯罪、死刑特赦の怪奏請と
獄中子持ける怪侍遇、法廷子持ける怪寫
真と主れが漏れた怪経緯、怪文書言を添
へて公表した怪行動、当局子對する反對
党の怪攻撃と政府の怪辨明

1213

大臣出身府縣分布

大正十五年九月六日



府縣	總理	平大臣	府縣	總理	平大臣
山口	四	二〇	秋田		二
鹿兒島	三	一七	宮崎		二
高知	一	一二	神奈川		二
佐賀	一	一〇	埼玉		一
熊本	二	七	千葉		一
東京		五	三重		一
岡山		五	福島		一
愛知	一	三	長崎		一
岩手	一	三	愛媛		一
福岡		四	鳥取		一
京都	二	一	山形		一
廣島	一	二	岐阜		一
島根	一	二	栃木		一
大坂		三	群馬		一
長野		三	新潟		一
德島		三	茨城		一
兵庫		三	奈良		一
和歌山		三	山梨		一
大分		三	青森		一
宮城	一	一	福井		一
靜岡		二	富山		一
滋賀		二	香川		一
石川		二	沖繩		一

1214

支那内乱(吳佩孚敗走武漢陷る)

大正十五年九月九日



蔣介石

孫傳芳

吳佩孚



左傾馬子生檢舉さる

大正十五年九月十六日

「みん衆左に傾いて
居る」

教授

學生



1216

熊次郎(千葉縣)殺人犯事件

大正十五年九月十九日



1217

特急顛覆

大正十五年九月二十三日

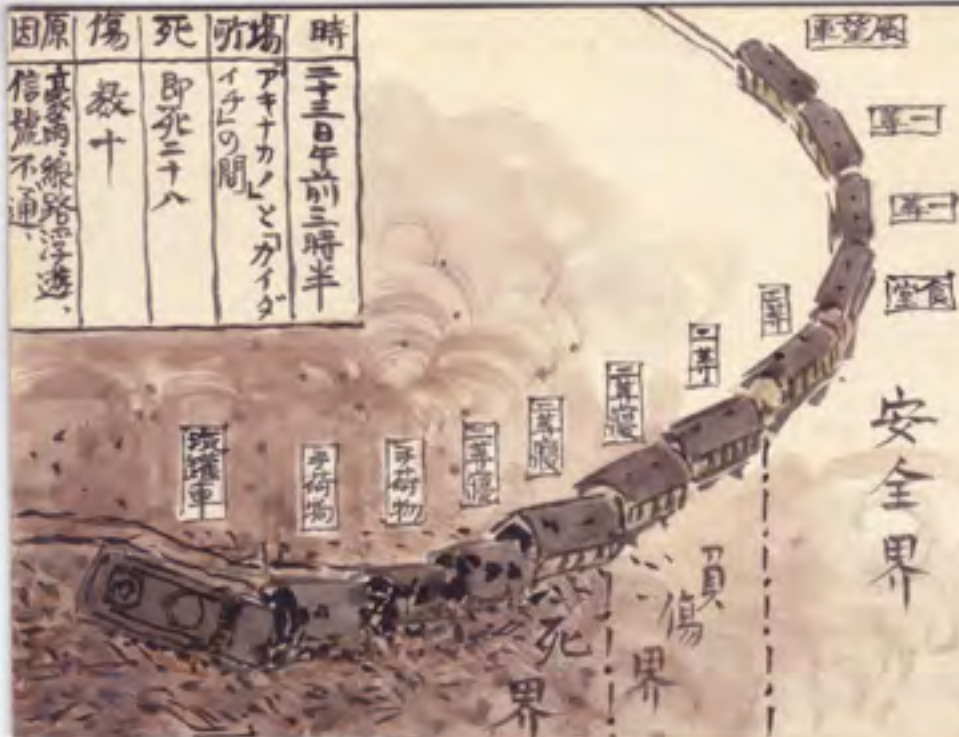


安全界

員傷界

死界

時	場所	死	傷	原因
二十三日午前三時半	アキナカノとガイダ イチノ間	即死二十八	救十	大雨、線路浮遊、 信號不通



1218

地方官大更迭(二十八縣に亘る)

大正十五年九月二十九日



中々
面倒だ
漢口



當夏の收穫

至九月三十日

大正五年九月三十日



長瀬鳳輔 藤井較一

内貴甚三郎 外松孫太郎

田辺淳吉 櫻井義隆

斎藤七五郎 ルドスグシチ

C.W. エリオット 島崎寿次郎

凡、D、タタ 長井金風

名和 靖 川寄寛美

貞賀田種太郎 尾上松之助

早速整尔 清野長太郎

ルドスグシチ 米田 穰

徳見常雄 指田義雄

江口元太郎

1220

五十回忌

大正十五年
十月三日



木戸
松菊

(四十四才)

西郷
南州
(五十一才)

静寛院(和宮)

(三十二才)

世の中の
憂てか
憂を
身一つに
取あつめ
たる心地
こそすれ

北京行

大正十五年十月五日



世と共に
人の安は
うつれども
かこらぬ
心のほ
心ふりけり

北京



澄み渡る
空にいろ
どる雲サ
あし
満月の野
の秋の
夕暮

秋を高め
汗の北京
を夜出
てい
薄氷を
踏む
奉天
の朝

満月



奉天

1222

戰鬥準備

大正十五年十月十五日



1223

日本農民党生る

大正十五年十月十七日



「地上地下
唯我獨尊」



1224

英國の悲哀

大正十五年十月二十日



アフリカ
俺の方から

勤王
だ



澳洲いつまでおやぢ
威張られて
居るものか



英
ヤク
親不
孝者
斗りた



印度
因業お
やぢめ
覚へて居ろ



加奈陀



「老はれおや
ぢ子用はな
いよ」

長慶天皇自皇統加列

大正十五年十月二十日



代花園天皇

至文保三年

後醍醐天皇

自文保三年

至延元四年

後村上天皇

自延元四年

第七代長慶天皇

自正平廿三年

至弘和三年

第九代後龜山天皇

自弘和三年

至元中九年

1226

伊澤市長辞職

大正十五年十月三日



病魔

伊沢
「助けてくれ
市長を
辞する
から



市魔

明治神宮外苑平面図



1227

明治神宮外苑成る

大正十五年十月二十二日



1228

汎太平洋學術會議

大正十五年
十月三十日



米加地方
英吉利
仏蘭西
和蘭
葡萄牙
瑞典
USSR
北米合衆國
加奈陀



ハワイ
ペルー
チリ
新ゼラード
澳ストラリア
パプア
ジャバ
フィリピン
ホル子オ
海峽殖民地
香港
支那

1229

西久保弘道東京市長當選

大正十五年十月三十日



西久保

政治は猶劍道の如しと收



③ Modern



② Renaissance



① Classic



1230

裸婦像の進化
大正十五年十月三日



千客萬來

大正十五年十月六日



1232

箕浦勝人若槻首相を訴へ

大正十五年十一月十日



若槻
「左ッ

箕翁

「へーお訴へ
申上げます

若槻の
やろうめが
うそを
つきまーた



1233

顧維鈞窮す

大正十五年十一月十一日



顧
カ
張
早
て
お
呉
れ
よ

張
顧
が
モ
カ
ク
は
モ
カ
ク
は

外
「通れるあら
通つて見ろ

内
「これ達を
ドーして呉れる



1234

井上哲次郎筆禍

大正十五年十一月十四日



井上
デモ
恐ろしい
執念じゃ
ああ



「国賊」思ひ知れ
(泰東文化被滅連)

1235

英国皇帝の肩書

大正十五年十二月二十四日



一同
「大ブリテン、アイルランド
及
大ブリテン海外領土の王。
国教擁護者。
インド皇帝陛下。
萬歲」



1236

死亡率

(人口千に對する年間)

大正十五年十月二十六日



日
二三

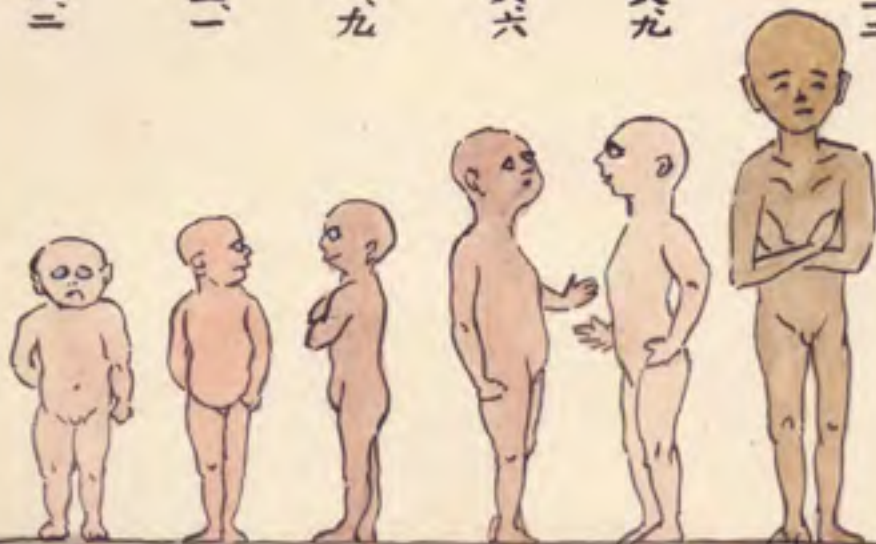
仙
一六九

伊
一六六

独
一三九

英
一三一

米
一三三



1237

張作霖安國軍總司令とあり

大正十五年十二月三日



張作霖



孫傳芳

張宗昌



新党癩出

大正十五年三月九日



社會
民衆黨

日本
勞農黨



去年中落した金と拾った金

大正十五年十二月十日



拾った金

百六十二万
二千百十六円

落した金

四百九万四千九百
七十五円



1240

大正十五年十二月二十五日



裕仁親王踐祚

天皇白崩御

改元昭和三

1242

國家の柱石

昭和元年十二月二十日



收穫

自大正十五年正月一日
至昭和元年十二月三十一日

昭和元年十二月三十一日



大岩弘平
小倉信遠
淺田知定
日置益
伊庭貞剛
福沢捨二郎
灸久保作藏
天野七三郎
神戸孝一
ルミヲ玉五郎
鶴丈一郎
高平小五郎
名井守正
武井守正
福柳
中島半次郎
片岡市藏
笠原文太郎



大正十五年畧譜

昭和元年十二月三十日



吉凶

煙中牟田松子松田氏に嫁す
從兄棚橋文作死す

十一月
十二月

官歴

教員指定臨時委員被仰付
大谷ヨリ海外派遣交渉ヲ幹ス
帝國在籍留學生會本部事務嘱托
栃木縣へ學生指導會出張(大學)
明治神宮奉賛會有功章ヲ受ク(戦後親王)
北京へ出張命ゼラル(外務省)

三月
四月
五月
七月
八月
九月
九月

開係工事

鷗見總持寺内林氏供養相輪標成る(八月)
久米民之助氏強羅別荘内橋成る仙像及
諸邊電の園案成る(八月・九月)
入沢達吉萩窪邸設計成る(十月)
明治神宮外苑成る(十月)
松平政直銅像台設計成る(十一月)
熱田神宮橋張工事成る(十二月)
帝國在籍留學生會村山建碑成る(十二月)

講演

江戸の建築術(武術野音)
湯島聖堂の復興不就て(斯文會)
法隆寺五重塔に關する新考(史學會)
日本建築に及ぼせる山(東方雜誌會)
科學と藝術(校訓會)
學問と藝術(校訓會)
北宮城(大講堂會)

寄稿

アス建築講義、万朝報新日本史その他十
数篇

1245

昭和二年元旦



迎春哀調

上帝降龍昇九天，群黎號哭鼎湖前。
鴻鈞一轉青皇駕，春入乾坤諒闔年。

丁卯元旦

夢舟臣塚原周敬題



1246

昭和丁卯

昭和二年一月一日





1247

南無觀世音菩薩
昭和二年一月一日



1248

東之通宮殿下御帰朝

昭和二年一月九日



殿下

「アイタ...
帰へるよ
帰るッデバ

「サー
お帰へり
遊ばせ



「お帰へし申し
ません

1249

大倉九十一翁隱居す

昭和二年一月十日



喜八郎

「身輕みあつてモー」と働きだ



喜七郎

1250

支那と英國

昭和二年一月十四日



英「有り金
残らず出せ」



英
人殺



1251

秩父宮殿下御歸着

昭和二年一月十七日



1252

國技館振ふ

昭和二年一月十八日



出羽ヶ嶽

三杉磯



1253

議會停會

昭和二年二月二十日



1254

三党首妥協

昭和二年一月二十日



1255

基將基流行

昭和二年一月二十一日



1256

四十年來の低温
昭和二年二月二十四日

攝氏〇下八度六分



第 二 十 二 世 紀 後 期

第 二 十 二 世 紀 中 期

第 二 十 二 世 紀 初 期

第 十 九 世 紀

1257



變り行く女子の服装
昭和二年一月二十五日



1258

新華族府縣分

昭和年月廿廿



公侯伯子男合計府縣

三二八五哭七四山口

二五二八五七一廣島

一四五五三七高知

一三四〇一八佐賀

一五〇一四熊本

一五五一一福岡

二二一石川

一〇二一四岡山

一一八一〇長野

一〇一〇静岡

一八九九兵庫

二七九福井

一六六七德島

二四六宮城

三三六岩手

一五五六島根

一五五六鳥取

六六六岐阜

一四五五秋田

公侯伯子男合計府縣

一三三新潟

四四三重

一三四廣島

四四福島

一三一愛知

一二三千葉

三三滋賀

三三愛媛

二二宮崎

一一二山形

一一二茨城

一一二埼玉

二二栃木

二二奈良

二二大分

一一一青森

一一一長崎

一一一群馬

一五五六和歌山

二二五七東京

四二二京都

四四大阪

1259

モダン
ガール

昭和二年一月二十九日



1260

三十二相

昭和二年二月二日



1 足下平滿
2 足下平輪
3 手足平軟

4 手足長指
5 手足指銳
6 足痕廣平

7 足趾高滿
8 伊泥延滿
9 正立平滿
10 馬王隱藏
11 一孔一毛
12 麻毛上向
13 細薄身皮
14 真妙金色
15 七處平滿

16 肩項內滿
17 腋下平滿
18 大人直身
19 身相端嚴

20 身體廣長
21 上身師子
22 面各丈光
23 四十齒脊

24 四牙鮮白
25 常得上味
26 廣長大舌
27 弘雅梵聲
28 牛王眼睫
29 紺青眼睛
30 師子王頰
31 眉間白毫
32 頂上肉髻



126

御大喪儀

昭和二年二月七八日



地にひれ伏して天地に
祈りし誠入れられす
日出る国の国民は
あやめゆかぬ闇路行く

大みはありの今日の目に
流るゝ涙はてもあし
如月の空に春浅み
寒風いと、身まはしむ

芳賀矢一 謹作



御大喪雜觀(死者三)

昭和二年二月七日



奥元帥

「死尚不辭
況微恙乎」

外国人
甲 原始的だ
乙 それが日本の強味
だ



「マダ十時間
アル、ト麻
ヘリレヨウ」

「尺の高足駄
をエ走したよ」



1263

信越国境積雪三丈五尺
昭和二年三月五日（百年來の大雪）



この下は人家あり



1264

米
国
力
二
軍
縮
提
案
示
昭
和
二
年
二
月
十
四
日



米
五、五、
三、
たよ



日
主義とし
て賛成

英
賛成



佛
不賛成



伊



對支外交 昭和二年二月十六日
(日本牛耳を取る)



日本
「サ」皆の衆
僕のあとに
ついて来玉へ

1266

大正十五年東京市郡内死者
昭和二年二月十七日

結核 一〇四五三

腦溢血 六二一六

肺炎 六二〇一

消化不良 五三〇四

先天的弱質 四五六二

腎臓炎 三九七七

癌 二七九四

その他 四一四九一

合計 八〇九九八

結核中肺結核ハ 七四二三
その他結核ハ 三〇五〇



1267

偽物流行

昭和二年二月十八日



偽物令嬢 偽物華族 偽物士族 偽物醫生 偽物大學生 偽物刑事

1268

秩父宮様御渡英問題
昭和二年二月二十四日



英坊ちゃん早く
いらつしやい



日本
「お出でに
あつては
いりません」

1269

戴天仇来る

昭和二年二月廿七日



戴天仇
日本人
てつけ
気をも

俺
子
應
對

對
し
ち

日
候
に
天
を
戴

か
ぬ
仇
で
は

あ
く
て
天
を

戴
く
仇
は

笑
は
せ
る

日
愛
赤
奴
だ
赤



1270

蘇浙混亂

昭和二年三月一日



1271

憲本、西党野合

昭和二年三月二日



1272

碧眼人形來訪

昭和二年三月三日



1273

丹後の大地震

昭和二年三月十日



1274

卒業生の洪水

昭和二年三月八日



絶望法案

昭和二年三月十五日



ドーシテモ助
かりませう
まじか

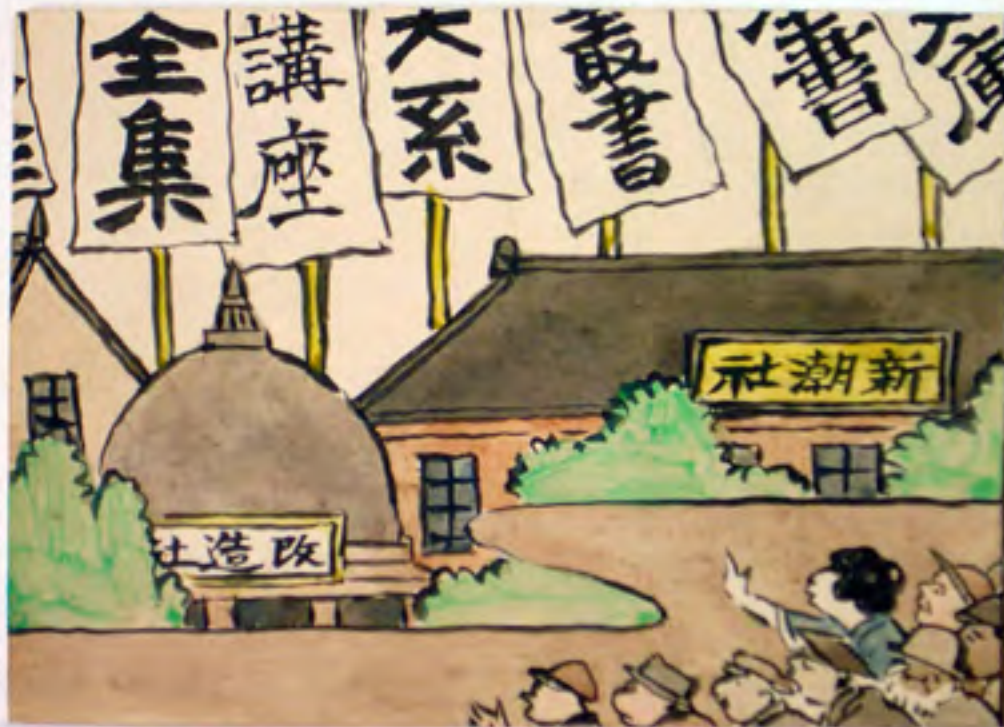
医
全く
絶望です



1276

出版界死物狂心

昭和二年三月二十一日



1277

銀行騒動

昭和二年三月二十二日



1278

新旧思想衝突

昭和二年三月二十三日



旧
このハイカラ
小僧めが

新
この頑固
おやぢめが



1279

南京掠奪

昭和二年三月二十五日



荒木海軍大尉自殺

昭和二年三月二十五日



1281

樂聖ベートーヴェン百年祭

昭和二年三月二十六日



Beethoven

1282

第五十二議會終了

昭和二年三月二十六日



「若
也此」



1283

日本人人口増加率

昭和二年三月二十九日

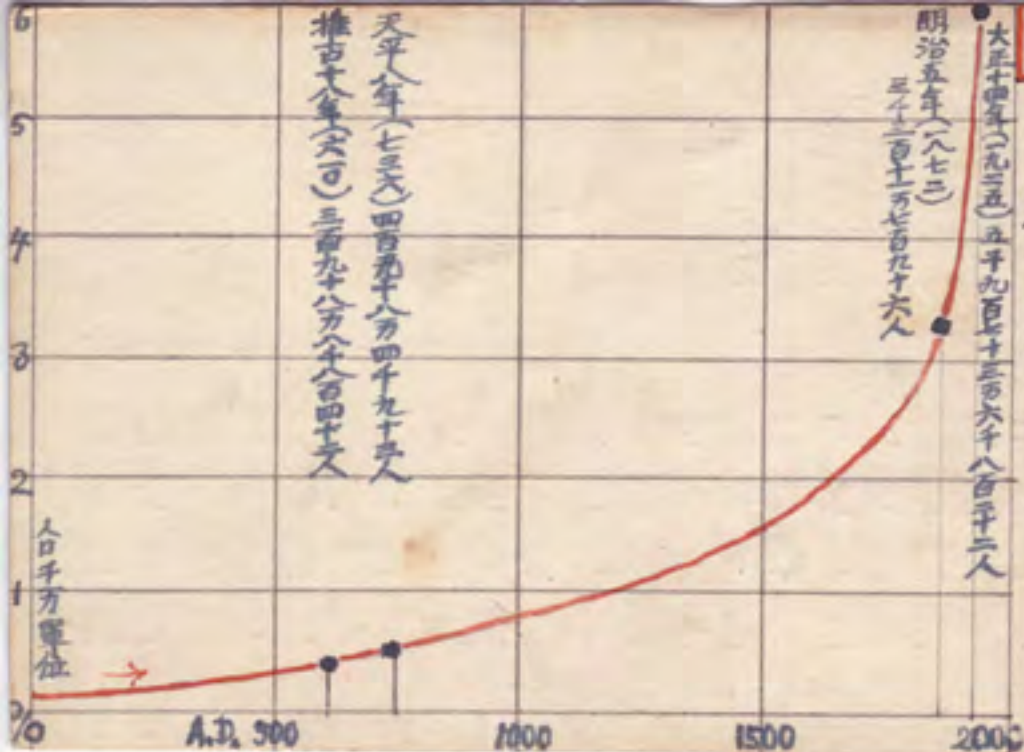


大正十四年(一九二五) 五千九百七十三万六千八百三十二人

明治五年(一八七二)

三千二百一十七万九千九百六十八人

天平八年(七三六) 四百六十八万四千九百九十二人
推古天皇(六四〇) 三百九十八万八千四百七十八人



當春の收穫

自昭和三年三月三十一日

昭和二年三月三十一日



吉武榮之進 神原政和
 大澤謙二 岩寄勲
 昆田次郎 関清英
 原口 要 石橋助三郎
 芳賀矢一 神尾光臣
 稻田周之助 根津一
 押上六藏 野田卯太郎
 高島張輔 鈴木宗言
 中村是公 高橋瑞子
 荒井泰治 大森鐘一
 岸敬三郎 山岡直記
 大村西崖 永田仁助
 新海太郎 有馬頼万
 石井義太郎 野副重一
 巨智部忠承 康有為



1285

張作霖露大使館を檢挙す

昭和二年四月七日



1286

帝国議會議事堂上棟

昭和二年四月七日



1287

支那(端睨すべからず)

昭和二年四月九日



長頭鳥喙の英米

(五国共同抗議) 昭和二年四月十二日



吾
希免
あさい
と言へ



支那
何け物退治をしたんだ
化け物子あやまる
わけハ無い



昭和二年四月十五日



「何をソナに
騒ぐのだ」

政府

「この木を
枯らしちゃ
大変です」



1290

甚麼事情你明白麼

昭和二年四月十七日



御前仕合

(政府惨敗)
留閣総辞職

昭和二年四月十七日



1292

田中内閣成る

昭和二年四月二十一日



總理

田中義一

内務

鈴木喜三郎

外務

田中義一

大藏

高橋是清

陸軍

白川義則

海軍

岡田啟介

司法

原嘉道

文部

三土忠造

農林

山本實郎

商工

中橋徳太郎

逓信

望月圭介

鐵道

小川平吉

郵長

鳩山一郎





1293

銀行界大恐慌

昭和二年四月二十一日

(東西各銀行休業)
午刻漸停止



活路在那邊

昭和二年四月二十七日



昭和二年五月一日



政友會

特別大安賣
景物山の如し

店員高給雇入

保險附優良品

開店大賣出

千客萬來

政友會



1296

高校入学試験問題漏洩事件
昭和二年五月二日



「僕、こも
買つて
頂戴」

「入学試験問題
題大安賣
一題タタ
二百円」



1297

吳憲政蜀政本連衡して魏政友に當る

昭和二年五月三日
第五十三議會成立休道震旦乱如麻
日東政界今奈何

新黨クラブ	二	三	二
政友會	一	五	九
新政クラブ	二	五	九
實業同志會			九
昭和クラブ	一		一
無所属	二		二
合計	四	五	八

昭和二年五月六日



	計画	勇敢	不動	自制	用心	自己満足	信用	妥協
日本人	5.00	4.84	4.68	4.44	4.24	4.00	3.80	1.88
支那人	3.80	3.92	4.46	4.40	4.28	4.28	4.72	3.93
葡萄牙人	3.24	2.64	3.48	2.44	2.64	3.64	3.04	2.23
布哇人	1.72	2.68	2.08	3.28	3.60	1.92	2.80	4.28
比島人	1.36	2.16	1.40	1.80	1.44	1.28	1.60	2.80
ハワイ人	1.28	1.56	1.65	1.65	1.69	2.40	1.24	2.30

1299

不良外人とモダンガール征伐

昭和二年五月八日



1300

駅名左文禁止

(文字の三重生活)



東京

うよきうと

TOKYO

TOKYO

東京

とうきょう

とうきょう
東京

TOKYO

昭和二年
五月九日

コレが
国際的だ

アレが
日本的だ

コレが
合理的だ

